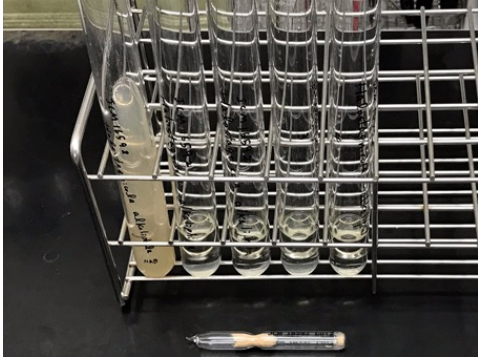


# 高度好塩性アーキア：L-乾燥アンプルからの復元培養法

JCMにおける高度好塩性アーキア（Extremely halophilic archaea）のアンプルは凍結乾燥したスキムミルクに分散媒に懸濁した細胞をしみ込ませた標品をL-乾燥したものです。その復元培養法を以下に紹介します。



L-乾燥アンプル及び復元培養に使用する培地（液体及び斜面培地）。



アンプルのくびれ部分にやすりなどで小さなキズを入れてから70%アルコール綿でよく拭きます。



アンプルを滅菌ガーゼで包み、キズをつけた部分を外側に向けて折って下さい。その後綿栓を火炎滅菌したピンセットなどで静かに抜き取って下さい。



パストツールピペットを用いてアンプルに0.3～0.5 mlの液体培地を添加します。アンプル内のスキムミルクを静かに懸濁させていきます。



細胞懸濁液の少量を斜面培地の上部から静かに流します。



残る細胞懸濁液を1本目の液体培地中に懸濁します。以下、2本目、3本目の液体培地に順次段階希釈していきます。その後所定の温度で静置培養します。

復元培養には少量の液体培地（5～10 ml）を複数本用意して下さい（分散媒が生育を阻害することがあるため）。必要に応じて、アンプル中の細胞懸濁液、あるいは液体培地に希釈した培養液を平板培地に塗布して培養して下さい。